

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グッドマン高槻新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府高槻市下田部	構造	S造
用途地域	工業地域・準工業地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年5月31日
敷地面積	10,032 m <sup>2</sup>	作成者	浅井謙建築研究所(株)
建築面積	6,753 m <sup>2</sup>	確認日	2021年6月1日
延床面積	22,084 m <sup>2</sup>	確認者	矢野 知紀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>物流倉庫として最大限の効率を得る為フレキシビリティのある空間を確保し、外壁に断熱効果の高い金属サンドイッチパネルを使用して空調負荷を軽減する他、照明にもLEDを用いるなど省エネルギー性に配慮した。更に生物環境を考慮した植栽や犯罪・光害・騒音対策を両立させた計画を通して近隣、外部環境に配慮し周辺地域に</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>T-2サッシ、節水型の便器、水栓やLED照明を採用し環境負荷の軽減を目標とした</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ゆとりある設計積載荷重及び階高、更に壁長さ比率を小さくして、将来の用途変更において支障のないフレキシビリティを確保している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>生物環境の保全に関わる緑地環境作りを行っている。景観への配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁に断熱性の高い金属サンドイッチパネルを用い空調負荷を軽減するほか、省エネルギー性能の高いLED照明器具を採用し、設備システムの効率化を図っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具を採用し、水資源の保護を図っている。リサイクル製品の活用によって資源保護を図っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>適正な駐車台数を確保している。建物外壁・外灯による周辺の光害の低減を図っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0128

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)グッドマン高槻新築工事					
	建設地	大阪府高槻市下田部					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.1	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		